スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

奈良県　御所市

自 治 体 名 ： 奈良県御所市
担 当 課 名 ： 生涯学習課
電 話 番 号 ： ０７４５－４４－３５９８

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	60.58 ㎢
人口	23,789 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	395 人
部活動数	19 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

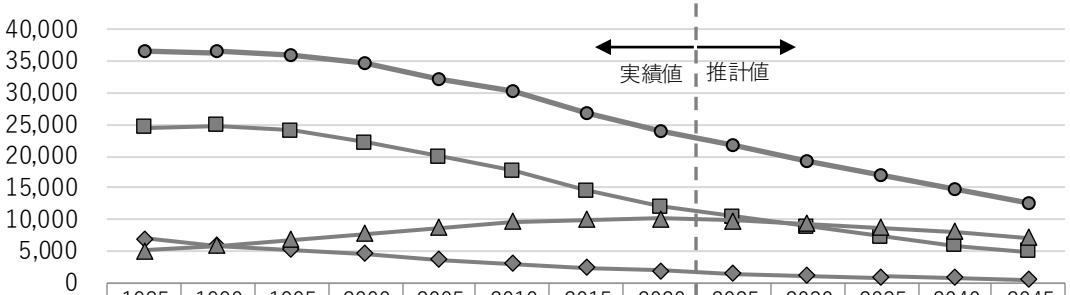
御所市では、少子化により生徒数が急激に減少しており、学校運営にも影響が出ている。義務教育の観点から、子ども達への教育の質を向上させることが重要であり、学校規模適正化審議会答申に基づき、御所市立学校の適正規模及び適正配置について取り組んでいる状況である。

クラブ活動においても、学校単位での活動を維持、運営することが困難になっており、一部の活動では「拠点校方式」を導入しています。

令和６年４月に「御所市地域クラブ活動推進協議会」を設置し、令和８年度までに休日における部活動の地域移行を目指している。

しかしながら、指導者の確保、活動場所までの交通手段の確保等多くの課題を抱えている。

（1985年～2020年は国調人口、2025年～2045年は推計人口）＜令和5年推計＞



	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
総人口	36,693	36,644	36,119	34,676	32,273	30,287	26,868	24,020	21,672	19,314	16,988	14,731	12,642
0～14歳	6,981	5,939	5,248	4,575	3,718	2,999	2,337	1,843	1,448	1,170	956	801	656
15～64歳	24,552	24,771	24,120	22,218	19,866	17,695	14,504	12,075	10,468	8,842	7,340	5,874	4,872
65歳以上	5,112	5,921	6,742	7,690	8,689	9,593	10,027	10,102	9,756	9,302	8,692	8,056	7,114

出典：総務省統計局『令和2年 国勢調査』（実績値）及び国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人（平成30年推計）（令和3年推計）（令和5年推計）』（推計値）を基に作成

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）

御所市

↓

御所市教育委員会（事務局　生涯学習課）

↓

御所市地域クラブ活動推進協議会
1. 中学校の校長及び教員
2. ＰＴＡ連絡協議会の代表者
3. 体育協会の代表者
4. 文化協会の代表者
5. スポーツ推進委員の代表者
6. 総合型スポーツクラブの代表者
7. 教育委員会事務局の職員
8. その他教育委員会が必要と認める者

●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・指導者と学校のマッチング
・推進協議会の開催
・指導者研修会の開催
・事務処理等

年間の事業スケジュール

令和６年４月	第１回御所市地域クラブ活動推進協議会
令和６年７月	御所市地域クラブ活動推進協議会専門部会
令和６年９月	教職員向けアンケート
令和６年１０月	実証事業開始
令和６年１２月	実証事業終了
令和７年１月	実証事業参加者向けアンケート

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	４校	実施した地域クラブ総数	１クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		１クラブ（ソフトテニス 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		０クラブ
全体の指導者数	３人	全体の運営スタッフ数	３人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
ソフトテニスクラブ	体育協会加盟団体	ソフトテニス	計８回	９時 ～ １２時	中学１年生 中学２年生	１０月 ～ １２月	健民運動場 テニスコート	３ 人	３ 人	0円	当クラブとして参加していないが、学校から中体連の大会に参加

③その他、体験会やイベント等の開催実績

当クラブとしては参加していないが、学校から中体連の大会に参加。

2.実証内容と成果

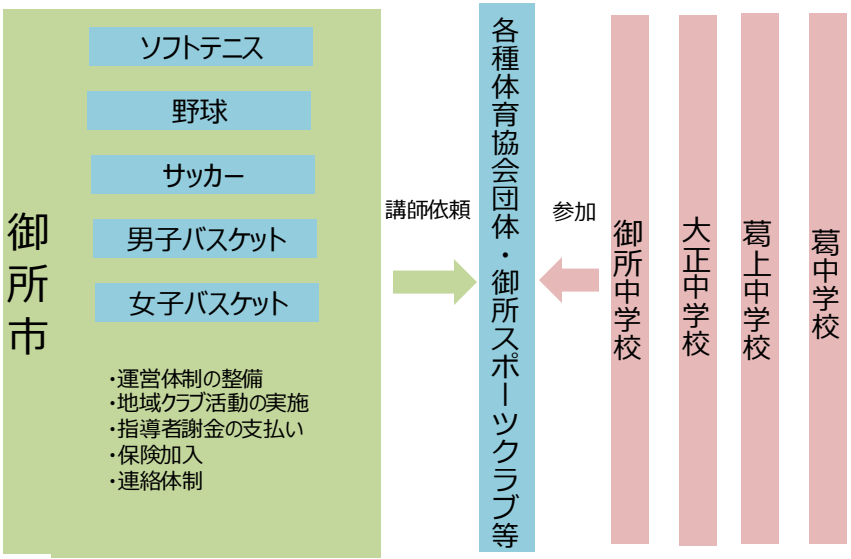
スポーツ庁

主な取組例

●ソフトテニスクラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス
運営団体名	御所ソフトテニスクラブ
期間と日数	１０月 ～ １２月　土曜日　計８回
指導者の主な属性	御所市体育協会会員
活動場所	健民運動場　テニスコート
主な移動手段	各自
１人あたりの参加会費等（年額）	０円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者　１名

役割：活動における管理者として、指導及び市との調整や生徒との連絡を行う

●指導者　２名

役割：生徒への指導を行う

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

指導者や設備、生徒数の問題により、学校単位では部活動の種目が制限されている。

指導者と場所と生徒をマッチングし、広域的な取り組みをすることで地域単位での多様なスポーツクラブ活動の実現に取り組む。

取組の成果

参加した中学生４人を対象としたアンケートの結果、４人の内3人が参加して良かったと回答をしていた。参加者の過半数が良かったと回答しており、事業を実施することに一定意味があると考えられる。「優しく指導してほしい」や「レクリエーションもしてほしい」という意見が得られ、現状の生徒が求める活動内容へのニーズも把握できた。

平日に部活動を指導している顧問にも参加してもらったが、競技歴や指導歴のない種目の部活動を担当していたため、今回の実証事業で専門的な指導者に従事し、技術の向上及び指導法の習得等、副産物的な成果も得ることが出来た。

コーディネーターの具体的な動きの実績

コーディネーターは未配置

今後の課題と対応方針

市内の全４中学校に募集の案内を行ったが、既存の部活動を有する１中学校からの参加にとどまった。活動場所による交通手段等の問題や多くの学校や生徒に参加してもらえるような工夫が必要である。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

令和６年4月に御所市地域クラブ活動推進協議会を設置。

同協議会は、体育協会、スポーツ推進委員及び総合型スポーツクラブの代表者と中学校、PTAの代表者で構成され、学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けて検討し、相互に連携を図っている。

取組の成果

協議会の構成員として、各中学校の代表者を任命することにより、市内中学校すべての生徒に事前周知や募集チラシの配布を行うことができた。現在の中学生や将来対象となる小学生については、地域クラブ活動についてのアンケートによるニーズ把握等を行うにあたって、学校と連携することにより、アンケート回収率を上げ、なるべく多くの対象者のニーズを把握できるよう取り計らい、結果多数の回答を得られた。

また、指導者の確保においては、体育協会加盟団体の協力を得ることができ、各部活動について候補者の目星をつけることができた。

バス等の運行実績

なし

バス等の運航経費・収入

なし

今後の課題と対応方針

体育協会加盟団体、スポーツ推進委員及び総合型スポーツクラブ指導者の高齢化が進んでおり、新たな指導者を確保するために、民間事業者等との連携を図り、若手人材の発掘を促進する。ただし、指導に見合う報酬金額等の設定が必要。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

御所市では。少子化の影響により、クラブ活動が学校単位で維持、運営することが困難になっており、一部の活動において「拠点校方式」を導入している。

今後はクラブ活動の維持、運営を継続するために、校区を限定せずに、地域クラブ活動への移行を図る。

各自治体の役割

御所市教育委員会

・指導者と学校のマッチング
・推進協議会の開催
・指導者研修会の開催
・事務処理等

事務局運営の方法

御所市教育委員会生涯学習課に事務局を設置

取組の成果

地域クラブ活動に参加した生徒は、4名であったが、学校よりも充実した施設で、専門の指導者から指導を受けることができた。

今後の課題と対応方針

移行の取り組むクラブ活動を増やし、令和８年度までに、休日のすべての運動部活動を地域クラブ活動へ移行する。

交通手段の確保と平日の部活動との連携が課題。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①

取組事項

学校部活動よりも充実した施設で、専門の指導者から技術的な指導を受けることができるよう活動を行った。

活動の詳細

参加人数	４人	指導者数	３ 人
属性	民間のスポーツクラブ		
具体的な内容	健民運動場のテニスコートで体育協会加盟団体であるソフトテニスクラブの指導者から技術的な指導を受ける		
子供の声	● 開始時期、練習日程、練習場所については、概ね現状のままでいいと回答。 ● 4人の内、1人が保険料相当（800円）の負担なら問題ないと回答。他は無料が望ましい。 ● 「もっと優しく指導して欲しい」「レクリエーションもして欲しい」と意見があった。 ● 4人の内、3人が参加して良かったと回答。1人がもう参加したくないと回答。		
関係者の声	● 平日の部活動を担当している教師にも参加してもらったことから、教師自身が競技歴や指導歴のない部活動を受け持っていたため、今回の活動で専門的な指導法や技術を学べて参考になったという声を聞いた。 ● 指導者からは、毎週、定期的に時間を拘束されるため、報酬の割に負担が大きいという声を聞いた。 ● 子ども達の健全な育成のためにも、教師が適正な賃金をもらった上で、学校で指導を受けたほうがいいという声も聞いた。 ● 子ども達を送迎する親の負担も増えたと聞いた。		
運営経費	講師謝礼 消耗品 保険料		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実②





取組の成果

ソフトテニス専用のコートで、競技を専門的に活動している指導者のもと、技術的な指導を受けることができた。

平日の部活動を担当している顧問にも参加してもらったことから、顧問自身が競技歴や指導歴のない部活動を受け持っていたため、今回の活動で専門的な指導法や技術を学べて参考になったという成果もあった。

今後の課題と対応方針

子ども達の希望する部活動を提供するために、場所や指導者の確保が困難となっている。指導者の高齢化や報酬に対する時間的な拘束も負担との声もあり、若手の指導者の発掘や報酬金額の見直しも必要と思われる。

また、学校施設以外のより専門的な施設を確保することにより、交通手段も課題となるが、現状では親の送迎に頼る等、主だった解決策は見い出せていない。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

本年度の実証事業においては、自己負担金は求めずに行ったが、この実証事業等を踏まえ、適切な受益者負担額の設定や、公的資金のバランスについて検証を進めた。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

現状では費用無し

■ランニングコストの分析

指導者謝金
消耗品費
保険料

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

当市の規模を踏まえ５人～３０人程度の部活動で、指導者は１、２名を想定して試算。

謝礼単価は時給1,600円とし、日に3時間を月4回、年48回の実施を想定し、上記のランニングコストを満たす持続的な運営に必要な金額を算出した。

当市が実施したアンケートでは保護者が妥当と考える負担額のボリューム層は0円～3,000円にある。

負担額を月1,000円とした場合、指導者１人で２４人以上の生徒が在籍する必要がある。

負担額を月2,000円とした場合、指導者１人で１１人以上の生徒が在籍、指導者２人で２２人以上の生徒が在籍する必要がある。

負担額を月3,000円とした場合、指導者１人で７人以上の生徒が在籍、指導者２人で１４人の生徒が在籍、指導者３人で２１人の生徒が在籍する必要がある。

月3,000円を徴収すれば指導者１人あたりの指導負担も現実的で、収支バランスとしても持続的な運営が可能と考えられる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

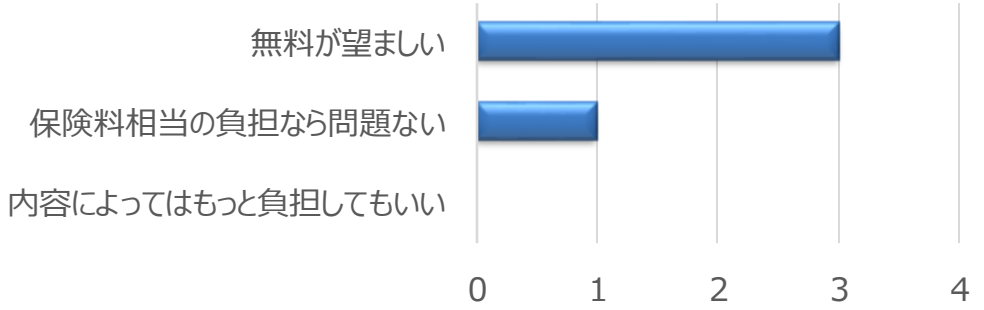
取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

本年度は、実証事業として最初の取組であり、無料で参加者を募った。
アンケート結果から4人の内、3人が次年度以降も無料が望ましいと回答。
1人が保険料相当の負担なら問題ないと回答。

◎アンケート：費用負担について



今後の課題と対応方針

受益者負担はある程度必要と考えているものの、参加者の声として無料を望むものが多く、現状の学校部活動との均衡を図るにあたっても、過度な負担金を求めるのは妥当とは思えない。

指導者、施設をより充実させるには、より費用がかかることから、今後も適切な収支バランスを検討し、一定の受益者負担を検討していく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等③

資料

P1

スポーツ庁事業費確認シート（スポーツ庁・事務局確認用）

市区町村名 奈良県御所市

Ⅰ．収入

費目	種別	決算額	割合
	都道府県委託料	87,000	86.0%
	スポーツ庁費	87,000	86.0%
	都道府県単費	0	0.0%
	市区町村費	14,131	14.0%
	地域団体等自己負担	0	0.0%
	受益者負担	0	0.0%
	その他収入	0	0.0%
総計		101,131	

Ⅱ．支出

費目	種別	決算額	割合
支出	市区町村執行額（再委託費を除く）	101,131	100.0%
	地域団体等執行額	0	0.0%
総計		101,131	

P2

支出種別（再々々委託先を含む）

費目	種別	決算額	割合
支出	クラブ運営費	0	0.0%
	クラブ活動費	101,131	100.0%
	その他	0	0.0%
総計		101,131	

執行率

費目	決算額	執行率
契約額	87,000	
精算額	87,000	100%

重点地域支出内訳（再々々委託先含む）

費目	種別	決算額
支出	人件費・賃金	0
事業費	謝金	0
	旅費・交通費	0
	借料及び損料	0
	消耗品費	0
	会議費	0
	印刷製本費	0
	通信運搬費	0
	雑役務費	0
	保険料	0
	消費税相当額	0
総計		0

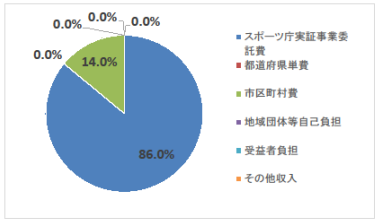
P3

全体事業費確認シート（スポーツ庁・事務局確認用）※独自事業込み

市区町村名 奈良県御所市

Ⅰ．収入（独自事業における収入含む）

費目	種別	収入額	割合
	スポーツ庁実証事業委託費	87,000	86.0%
	都道府県単費	0	0.0%
	市区町村費	14,131	14.0%
	地域団体等自己負担	0	0.0%
	受益者負担	0	0.0%
	その他収入	0	0.0%
総計		101,131	



運動部活動の地域スポーツクラブ活動への移行に向けた取組（スポーツ庁事業＋自治体独自事業）	自己調達割合（都道府県・市区町村費＋受益者負担＋その他）	14%
	受益者負担割合	0%

出典　スポーツ庁事業費確認シートより

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

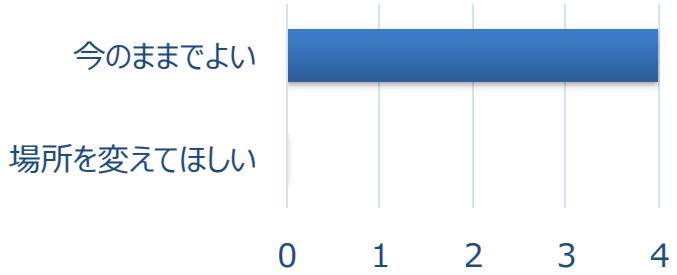
取組事項

体育協会加盟団体であるソフトテニスクラブの協力を得て、市の施設である健民運動場テニスコートを利用し、無償で実証事業を行った。今後も受益者負担を軽減するために、できる限り学校施設等無償で利用できる施設を活用する。

取組の成果

無償で健民運動場テニスコートを利用し、実証事業を行った結果、中学校のグラウンドより、現状の健民運動場テニスコートでの開催が良いと4人全員が回答。今回参加してくれた生徒所属学校のコートは運動場の一角にあり、フェンスでかこまれていない。県民運動場のコートはテニス専用で、フェンスに囲まれており、ボールが飛散しないことも一つの要因と思われる。

◎練習場所について（健民グラウンド：櫛羅　で実施）



今後の課題と対応方針

学校施設を利用することで、施設利用に関する受益者負担は減少するものの、当該学校以外の子ども達と、他校の子ども達との間で、移動においての負担に不公平感が出ると思われる。交通手段の確保を含め、一定の公平性が求められると思われる。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

御所市では、地域クラブ活動の最初の取組として、「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」をソフトテニスに絞って実施した。

市内すべての市立中学校４校の１、２年生を対象とし、全員に案内を配布したが、参加希望があったのは、既存の学校部活動で活動している１校４名のみであった。

当初、最低活動人数を６名としていたが、体育協会加盟団体であるソフトテニスクラブの協力もあり、４名での活動で開始することとなった。

平日の学校部活動との連携の観点からも、当該学校の顧問２名にも参加してもらい、合計７回（雨天中止１回）の活動を実施することができた。

少人数の活動となったが、７回すべての活動に参加した生徒もおり、参加者の技術向上、意欲向上に寄与したと思われる。

送迎等の親の負担、高齢化等による指導者不足等、当初から想定していたものの、多岐に渡る課題がでたのも実証事業の産物であった。

●成果の評価

満足のいく参加者数を集めることはできなかったが、すべての活動に参加した生徒の存在や、平日の学校部活動を指導する顧問と専門的に競技や指導を経験してきた地域クラブ活動の指導者と交流することで、専門外の部活動を指導していた顧問の技術や指導法が向上したことも、予期せぬ成果の１つであったと思われる。

●今後に向けて

奈良県が目標とする、令和８年度までに、休日の中学校部活動のすべてを地域移行するには、地域スポーツクラブ活動の種目を早急に大幅に増やす必要がある。

少子化の中でも、子ども達が生涯にわたってスポーツ活動に親しむ機会をもつことができるよう、学校と地域との連携を速やかに進め、持続可能な環境整備を行い、御所市地域クラブ活動推進協議会を中心に、部活動の地域移行に取り組む予定である。

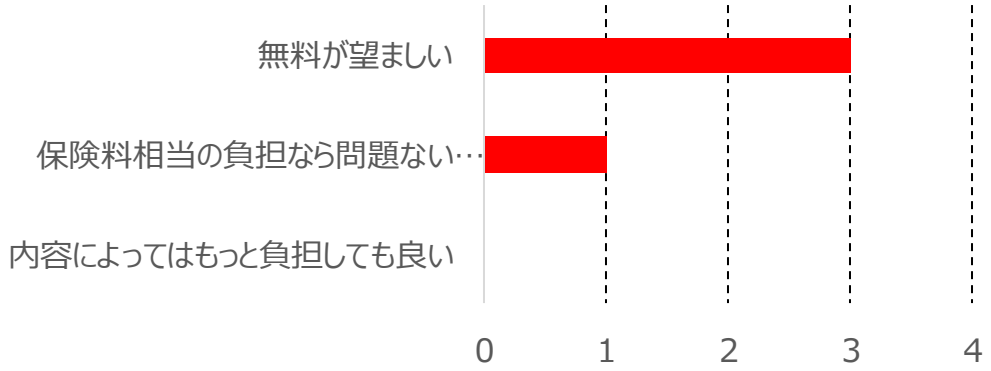
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

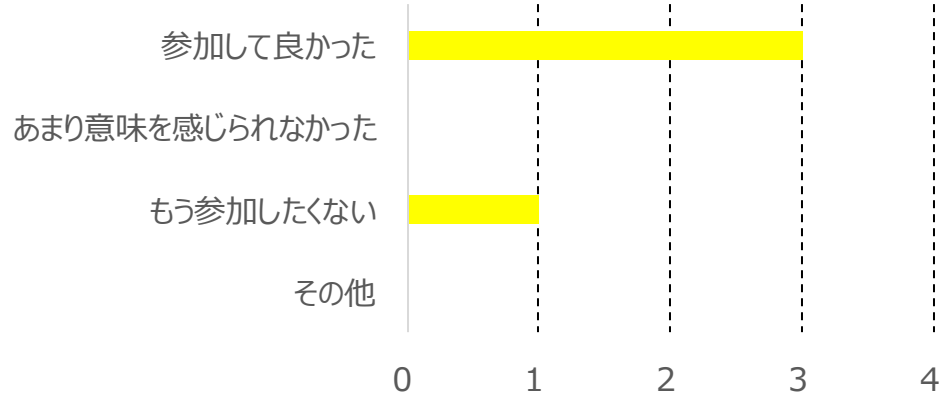
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

Q.費用負担について（4人）



Q.参加した感想（4人）



●参加者の声

中学１・２年生
もっと優しく指導して欲しい。
レクリエーションもして欲しい。

中学１・２年生
開始時期、曜日、時間、場所については今のままでいい。

指導者
毎週、定期的に時間が拘束されるため、報酬に比べて指導者の負担が大きい。

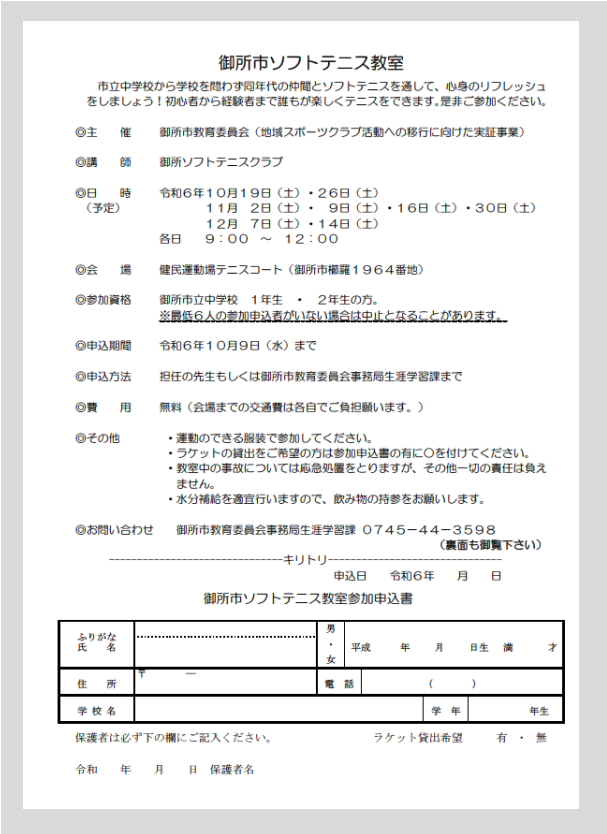
指導者
クラブ活動は子ども達の健全な育成のために、学校で教師から指導を受けた方がいいと感じる。
ただし、教師は適正な賃金をもらって行うのが妥当と考える。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

アンケート結果・広報資料

市立４中学校の１年生と2年生を対象とした参加啓発チラシを対象生徒に全員に配布。終了後に地域スポーツクラブ活動へ参加してくれた生徒を対象にアンケートを実施。



御所市ソフトテニス教室

市立中学校から学校を問わず同年代の仲間とソフトテニスを通して、心身のリフレッシュをしましょう！初心者から経験者まで誰もが楽しくテニスをできます。是非ご参加ください。

◎主　催　御所市教育委員会（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）

◎講　師　御所ソフトテニスクラブ

◎日　時（予定）　令和6年10月19日（土）・26日（土）
11月 2日（土）・ 9日（土）・16日（土）・30日（土）
12月 7日（土）・14日（土）
各日　9：00 ～ 12：00

◎会　場　健民運動場テニスコート（御所市櫛羅1964番地）

◎参加資格　御所市立中学校　1年生 ・ 2年生の方。
※最低６人の参加申込者がいない場合は中止となることがあります。

◎申込期間　令和6年10月9日（水）まで

◎申込方法　担任の先生もしくは御所市教育委員会事務局生涯学習課まで

◎費　用　無料（会場までの交通費は各自でご負担願います。）

◎その他
・運動のできる服装で参加してください。
・ラケットの貸出をご希望の方は参加申込書の有に〇を付けてください。
・教室中の事故については応急処置をとりますが、その他一切の責任は負えません。
・水分補給を適宜行いますので、飲み物の持参をお願いします。

◎お問い合わせ　御所市教育委員会事務局生涯学習課 0745−44−3598
（裏面も御覧下さい）

----------キリトリ----------

申込日　令和6年　月　日

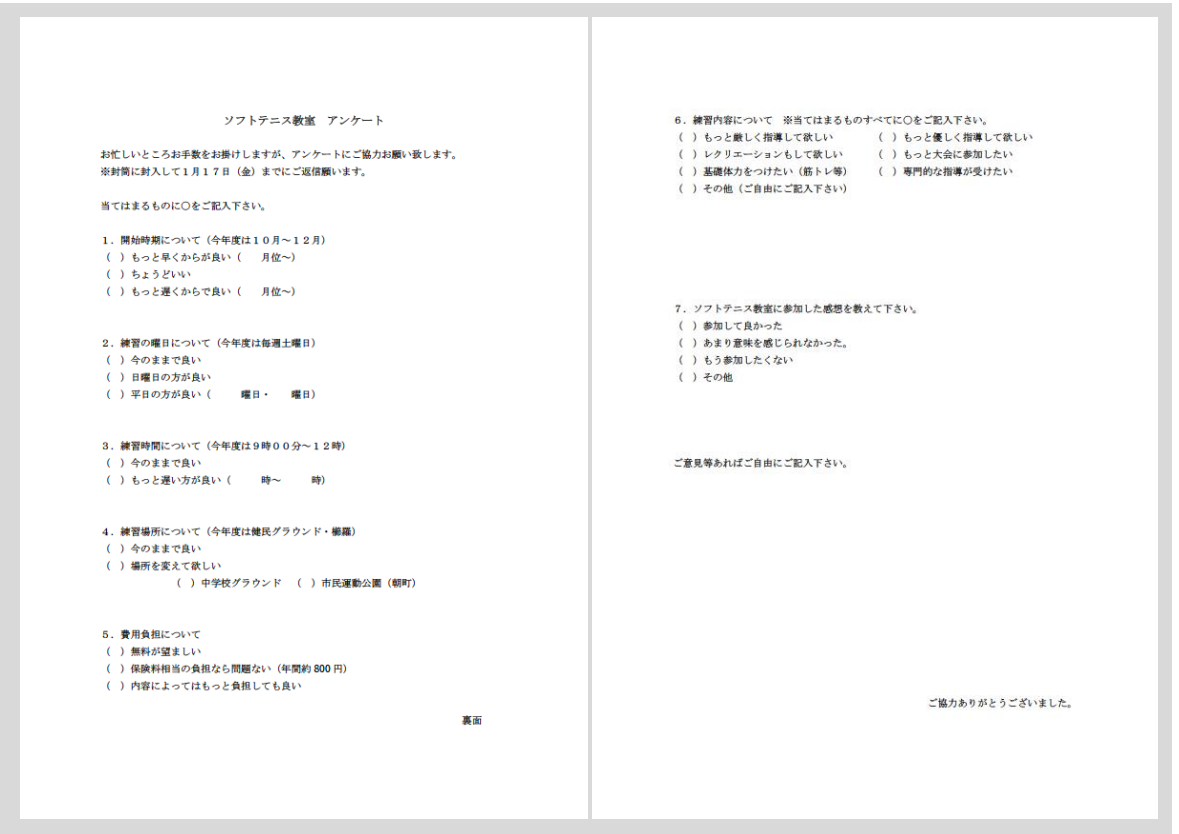
御所市ソフトテニス教室参加申込書

ふりがな 氏　名		男 ・ 女	平成　年　月　日生　満　才
住　所	〒　－	電　話	（　）
学 校 名		学　年	年生

保護者は必ず下の欄にご記入ください。　ラケット貸出希望　有 ・ 無

令和　年　月　日　保護者名

【生徒への参加啓発チラシ】



ソフトテニス教室　アンケート

お忙しいところお手数をお掛けしますが、アンケートにご協力お願い致します。
※封筒に封入して１月１７日（金）までにご返信願います。

当てはまるものに〇をご記入下さい。

１．開始時期について（今年度は１０月～１２月）
（ ）もっと早くからが良い（　月位～）
（ ）ちょうどいい
（ ）もっと遅くからで良い（　月位～）

２．練習の曜日について（今年度は毎週土曜日）
（ ）今のままで良い
（ ）日曜日の方が良い
（ ）平日の方が良い（　曜日・　曜日）

３．練習時間について（今年度は９時００分～１２時）
（ ）今のままで良い
（ ）もっと遅い方が良い（　時～　時）

４．練習場所について（今年度は健民グラウンド・櫛羅）
（ ）今のままで良い
（ ）場所を変えて欲しい
（ ）中学校グラウンド　（ ）市民運動公園（朝町）

５．費用負担について
（ ）無料が望ましい
（ ）保険料相当の負担なら問題ない（年間約 800 円）
（ ）内容によってはもっと負担しても良い

裏面

６．練習内容について　※当てはまるものすべてに〇をご記入下さい。
（ ）もっと厳しく指導して欲しい　（ ）もっと優しく指導して欲しい
（ ）レクリエーションもして欲しい　（ ）もっと大会に参加したい
（ ）基礎体力をつけたい（筋トレ等）　（ ）専門的な指導が受けたい
（ ）その他（ご自由にご記入下さい）

７．ソフトテニス教室に参加した感想を教えて下さい。
（ ）参加して良かった
（ ）あまり意味を感じられなかった。
（ ）もう参加したくない
（ ）その他

ご意見等あればご自由にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

【アンケート】

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【ラケットの握り方から指導】



【スイングの指導】



【ボレーの指導】



【ボレーの練習風景】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和６年		令和７年		令和８年	令和９年
協議会設置、検討開始	指導者の確保や状況調査	学校現場との調整	生徒、保護者への説明	地域クラブ活動の開始	地域クラブ活動の拡大

●ステークホルダー

御所市教育委員会、市立中学校、御所市PTA連絡協議会、御所市体育協会、御所市文化協会、御所市スポーツ推進委員、NPO法人御所スポーツクラブ

●経過

令和６年４月に「御所市地域クラブ活動推進協議会」を設置し、令和８年度までに休日における部活動の地域移行を目指している。地域クラブ活動の最初の取組として、「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」をソフトテニスに絞って実施した。

●実施にあたって生じた課題

体育協会加盟団体等から高齢化や時間的な拘束に対する負担感が大きいとの声があり、指導者が集まらない。また、生徒も活動場所や活動時間によって交通手段の確保が必要であり、保護者の送迎等、負担感が大きく参加者が集まらない。

●実施内容、工夫した点 等

体育協会加盟団体であるソフトテニスクラブの協力を得て、合計８回の教室を開催予定として生徒を募集。基礎から教えるカリキュラムを組んでもらった。生徒だけでなく、平日に学校部活動を指導している顧問にも参加してもらい、連携をとりながら実証事業を実施。学校部活動を指導している顧問にとっても、技術的な向上と専門的な指導法を学ぶことができる機会となった。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和6年4月	• 御所市地域クラブ活動推進協議会設立
令和６年10月～12月	• 地域スポーツクラブ活動実証事業（ソフトテニス教室）
令和7年度	• 地域スポーツクラブ活動実証事業（１９クラブ活動）
令和8年度	• 休日のスポーツ部活動の地域移行開始